

日本語能力試験N1 「合格体験記」

～日本語能力試験 N1 合格の心得と後輩へのアドバイス～

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科 2 年生

ニン テツ ウェー

今年の 7 月、私は JLPT N1 に合格しましたが、昨年一度不合格となり、その経験から「このままではいけない」と強く感じ、今回は計画を立てて本格的に勉強に取り組みました。

勉強に使用した教材は、『総まとめ（語彙）』、『新完全マスター（読解・文法）』、『問題 500』、『20 日で合格』、2010 年から 2018 年までの過去問題集、YouTube の聴解教材、そして学校の JLPT 対策講座です。

特に過去問を繰り返し解いたことで、出題傾向や時間配分を意識できるようになりました。

合格のために大切だと感じたことは、次の三つです。

- ① 本格的に勉強すること
- ② 自分に嘘をつかず、できたふりをしないこと
- ③ 耳学問を大切にすること

教科書だけでなく、日常会話や動画などから日本語を吸収することは、大きな力になりました。また、勉強の中で友達と内容を共有し、お互いに質問したり答えたりしたことも非常に役立ちました。人に説明することで理解が深まり、「なるほど」と気づく場面が多くありました。

私は毎日長時間勉強できるタイプではないため、隙間時間を活用し、「今日は何ページ進める」「文法をいくつ覚える」というように、学習量を具体的に決めて取り組みました。

さらに、環境づくりも大切にし、机の前に「必ず合格する」「絶対できる」「勉強する」と書いた A4 の紙を貼り、モチベーションを維持しました。

苦手だった読解では、三輪先生に教えていただいた「読解のコツ」を暗記し、問題を解く前に口に出して確認する練習を続けました。聴解では、ただ聞くだけでなく、メモを取りながら聞く習慣をつけたことが大きな助けとなりました。

今回の合格は、本気で取り組む姿勢、正直な自己分析、隙間時間の活用、友達との学び合い、耳からの日本語学習、そして環境づくり、これらの積み重ねによるものだと思います。努力を続ければ必ず結果は出ますので、あきらめずに挑戦してください。